

7 キャンパス等充実に関する事項

7-(1) 施設・設備・備品等について

キャンパス施設の整備として、長期計画に基づく事業の実施により、3 キャンパスそれぞれの特性を伸張させる施設・設備の整備を行った。具体的には、深草・大宮学舎では、既存施設の改修により教育・研究活動の環境整備と学生の厚生福利施設の整備・充実を図った。特筆すべき事業としては、教育環境を向上させるための深草学舎 1 号館・2 号館旧館の改修工事、3 キャンパスにて実施した事務組織再編工事、キャンパスが狭小であり発展的な整備が困難であった大宮学舎のキャンパス整備の一環となる大宮学舎新棟建設工事の着手があげられる。また、課外活動施設整備については、南大日グラウンドにおいて施設・設備面から充実を図り、2006 年度に引き続き南大日グラウンド整備事業を実施した。瀬田学舎においては、智光館書庫施設内への自動化書庫設置、野球場の排水設備及び外野部分の天然芝から人工芝への改修工事を実施した。

教育研究設備・備品については、公的外部資金の補助を受けつつ、教育研究の高度情報化を推進しており、マルチメディア教室の整備等を実施した。

1) 深草学舎における施設・設備・備品等の整備

主な施設の整備として、1 号館・2 号館旧館の改修工事を実施し、省エネに配慮した照明器具への取替、建物内の反響を低減するためのカーペット敷設等を行った。また、教育支援体制整備の一環として、各学部教務課の窓口業務を円滑に行うための改修工事、併せてバリアフリー化を促進するための自動ドア設置工事を実施した。さらに、快適で安全な環境を維持するための顕真館講堂天井耐震工事、2 号館エレベーター設備改修工事、衛生環境向上のための洋式洗浄便座設置工事、経年劣化した 6・7 号館防水、12 号館消火設備、6 号館高圧ケーブル・7 号館受電盤、ガス配管等の改修工事を実施した。

主な設備・備品の整備として、深草図書館に製本雑誌架を増設し、視聴覚機器及び閲覧用什器の更新を行った。また、21 号館視聴覚設備の更新、食堂厨房機器の更新、体育館第 8 トレーニング室のマシン機器更新及び増設を実施した。

2) 大宮学舎における施設・設備・備品等の整備

主な施設の整備として、情報教育環境を改善するため南麓 104 講義室をセルフラーニング室に改修した。また、東麓の経年劣化した給水設備、消火設備、高圧受電盤及び分電盤の改修を行うとともに、省エネに配慮した照明器具への取替工事を実施した。他学舎同様、学生窓口の改修工事、洋式洗浄便座設置工事を実施し、大宮学舎における施設環境を整備した。さらに、大宮学舎は校地校舎が手狭であり歴史的価値・地域の特性による制約から大規模な整備を行うことが困難であったが、教育・研究及びキャンパスアメニティーの充実をはかるため、既に取得している近隣不動産跡地に 2009 年 3 月竣工を目指した大宮学舎新棟建設工事に着手した。

主な設備・備品の整備として、改修したセルフラーニング室にパソコン 51 台を増設する等マルチメディア環境の整備を実施した。また深草学舎同様、食堂厨房機器の更新を実施した。

3) 瀬田学舎における施設・設備・備品等の整備

2006 年度に竣工した智光館の書庫施設内に自動化書庫を設置し、その書庫内にある図書を自動的に図書館まで搬送する設備を整備した。自動化書庫は約 37 万冊の図書を収納可能としている。また、瀬田学舎野球場の排水設備を改修し、外野部分を天然芝から人工芝に改修した。端艇部の合宿所である艇庫の増築・改修工事を実施しているが、滋賀県より許可がなされる建築確認申請が遅延しているため、2007 年度から 2008 年度にかけて工事を実施する予定である。

理工学部・理工学研究科の専門研究設備である「透過型電子顕微鏡」及び「機能性材料 X 線評価解析システム」、2 号館 120・220 講義室と 1 号館 619 会議室の視聴覚機器を整備した。

4) その他の施設・設備・備品等の整備

課外活動支援の一環として、南大日グラウンド整備事業（第 2 期改修工事）を 2006 年度に引き続き実施した。2005 年度に取得した既存グラウンドに隣接する第 2 グラウンドに照明等の付帯設備を整備し、ラグビー・サッカー・アメリカンフットボールの各競技にとって快適な課外活動環境を整えた。また 2008 年 3 月に、短期・長期合宿施設や校友会・親和会の交流宿泊施設を確保するために、京都市上京区にあるオムロン株式会社旧研修センターの土地及び建物を取得した。施設利用検討委員会を設けて今後さらに具体的利用方法を検討し、2008 年度に改修工事を完了した後、施設の利用を開始する予定である。